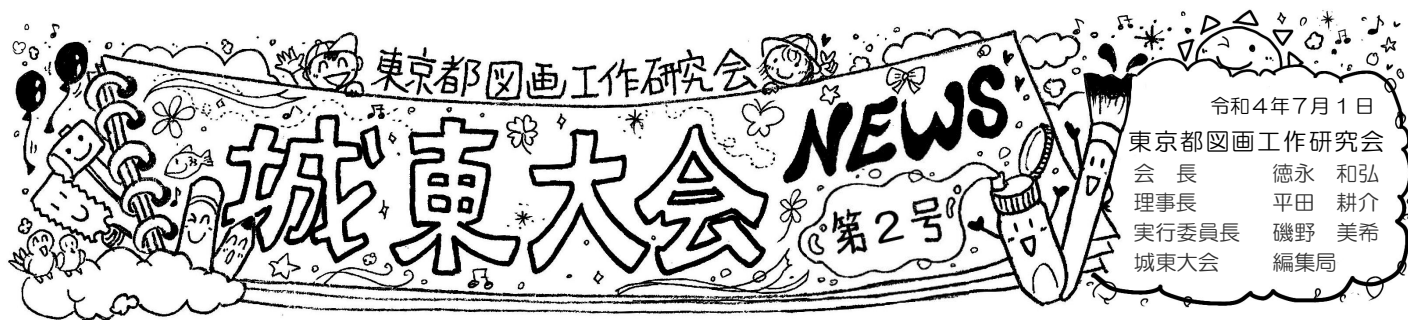




★ 城東大会：2022年12月9日（金） ※全日開催予定

★ 会 場：江戸川区立下鎌田小学校

※参加方法のご案内は改めて後日お知らせいたします。

※参加費：1000円

★ 大会時程(予定) ★

9：00～	10：00～ 11：30	11：30～ 13：10	13：10～ 14：25	移動	14：35～ 15：50	15：50～ 16：35	16：35～ 16：45
受付	公開授業 90分	昼食	分科会 75分		全体会		
					祝辞 基調提案 指導講評	パネルディスカッション 45分	謝辞 次年度引継ぎ 閉会

【 城東大会 2022年 大会テーマ 】

わたしからはじまる

～ 主体的に造形活動にかかわりながら

豊かに生きようとする児童の育成 ～



城東大会に向けて

城東大会まで約半年、城東5区215名の図工専科が総力を挙げて準備を進めているところでございます。

思えば2年前、ちょうど準備に入ったところにコロナ禍が始まりました。まさかの休校、まさかの城東大会の延期、慣れないオンライン授業、共同制作もままならず、私たちの大切にしてきた図工の時間もだいぶ様変わりしました。そんなコロナ禍を通して、私たちが手にした新しいツールの可能性、そして実感したいつの時代も変わらぬ大切なこと…城東大会の授業にはそれらがちりばめられています。

コロナ禍の出口も見えてきました。12月9日は東京の東の果ての江戸川で、「わたしからはじまる」という研究テーマのもと、自らの意思で力強く一歩を踏み出す子供たちの姿をともに見届けていただければ、と存じます。

城東大会実行委員長 江戸川区立鹿骨東小学校 磯野 美希

「わたしからはじまる」

「わたしからはじまる」は造形活動を行う児童の存在そのものです。創造的な活動や体験を増やしていくことで、児童の主体的で深い学びが実現し、内在する力が発揮されていくと考えます。図工の学習活動を起点として、自立心を培いながら、思いや体得したことを自己の未来、友達との交流、社会生活や他領域など、さまざまなことにつなげ、楽しさや豊かさを実感できる児童を理想の姿として、研究を進めています。

城東大会研究局長 江戸川区立平井西小学校 金田一 康

大会キャラクターが決まりました！ その名も…「あづまる」です！

- 城東地区(江戸川区)発祥である小松菜のマントを身にまとい、江戸紫の道中姿。
- ベルトの五角形は城東五区の心が一つということを表す。

*城東大会の「東(ひがし⇒あすま)」と人がたくさん「集まる(あつまる)」をかけてネーミングしました。
ちょっと無理がある？…かな？(^-^))



- 津々浦々旅をして都図研城東大会を宣伝してまいります。
- コロナ禍で中々集まれないけれど、城東大会にはたくさんの人が「あつまる」ように「あづまる」も願いながら城東大会を盛り上げます！

作：大堀 智子（江戸川区立平井東小学校）

★ 分科会 紹介 ★

「つくりつづける あたらしいわたし」江戸川区分科会

江戸川区分科会では「つくりつづける あたらしいわたし」をテーマに、低中高の3チームにわかれ、「見つける」「広げる」「深める」をキーワードに研究を進めています。

「造形的自立」をし、生涯にわたり主体的に造形的なものに関わっていく子供の育成を目指し、つくりつづけ、変化し、またつくりつづけることができる授業を考えていきます。

江戸川区立松江小学校 板垣 香奈子

「つながる つなげる わたしの思い」葛飾区分科会

葛飾区は「つながる つなげる わたしの思い」をキーワードに研究を進めています。

「材料・用具」「表現方法」「友達・教師」「学習環境」そして「自分の思いや考え」が『つながる』ことで、子供の深い学びがうまれると考えました。それらのつながりを意識した授業デザインを通して、「思いをつなげ主体的な造形活動ができる子」の育成を目指しています。

葛飾区立中青戸小学校 渡邊 梨恵

「かんじる・ためす から 広がる思い」荒川区分科会

荒川区では、子供がものに当たったときの「かんじる ためす」姿に着目しました。様々な素材は、何かをつくるための材料である以前に、子供の心が動き、何かしたくなるようなそのものの自体の魅力があります。わたしからはじまる「かんじる」「ためす」が、図工の豊かな学びのベースにあるとし、そこからそれぞれの思いに繋がっていく授業を目指して研究を進めていきます。

荒川区立赤土小学校 中島 綾子

「思い ひろがる 深める」墨田区分科会

墨田区では、子供が思いをもって主体的に学びを始めた「～たい」の後に、その思いを活動の最後まで持続させながら表したいことを表せるようになるための具体的な手立ての研究が必要であると考え、研究テーマに加え副主題を「子供の学びを読み解き続ける教師の目」としています。この「教師の目」の継続によって、子供の中に何が起きているのか、子供の変化変容気づきなどの学びを見取る目が育ち、それを具体的な授業計画・場や材料の設定・投げかける言葉等に反映させて授業改善へと生かせるようになってきています。

墨田区立菊川小学校 木本 修

「こうしたい！それいいね！」江東区分科会

江東区では、表現する過程で沢山の自己選択や自己決定を行い、自分らしい表現を探る経験を重ねることで、子供が自分の表現のよさに気付くこと、いろいろな表現を認め合う活動によって子供の造形に対する価値観を広げることの2点から、子供の自己肯定感を高め、大会テーマ「わたしからはじまる」に迫っていきます。

江東区立越中島小学校 吉田 和浩

